

2005年12月9日
東京海上日動火災保険株式会社

中国における現地損害保険会社への出資並びに経営参画

東京海上日動火災保険株式会社(社長 石原 邦夫)は、今般、中国保険監督管理委員会から正式認可を取得し、中国損害保険市場で収入保険料第5位の大手損害保険会社である「天安保険股份有限公司(以下:天安社)」に単独で24.9%の出資を行うとともに役員を派遣し、戦略パートナーとして同社の経営にも参画することになりました。日本の損害保険会社が中国の現地損害保険会社に出資・経営参画するのはこれが初めてとなります。

当社は、1994年に日本の損害保険会社としては初めて中国で元受営業認可を取得し、上海支店を設立して主に日系企業を対象としてサービスの提供を行ってまいりましたが、成長著しい中国損害保険市場において更なる収益拡大を目指すとともに、現在外資系保険会社に対して引受制限が課せられている自動車保険に対する日系自動車メーカー等の保険ニーズに対応するために、中国国内損害保険会社への出資を検討しておりました。当社は、複数の候補社の中から成長が著しい天安社を最終候補に絞り、出資に向けた交渉を進めてまいりましたが、中国保険監督管理委員会から天安社への24.9%出資(出資金 約70億円)について正式に認可を取得したものです。

天安社は、1994年10月に国有企業が中心となって上海で設立された損害保険会社で、2001年11月に全国営業免許を取得して以来、他の中国国内損害保険会社を大きく上回る成長を遂げ、2004年度の収入保険料は約51.5億人民元(約721億円)と、中国損害保険市場で中国人民財産保険、太平洋、平安など大手損害保険会社に次ぐ、第5位のマーケットシェア(4.6%)を獲得しております。

当社は、種目引受制限が付されていない全国営業免許を有する天安社に出資することで、中国全土における損害保険事業の展開の基盤を獲得します。また、本出資により、モータリゼーションの伸展により急成長している中国自動車保険市場に参入することになります。具体的には、当社は、天安社の戦略パートナーとして、役員に加えて複数名の社員を派遣して、同社の事業運営に参画する予定です。日本の損害保険会社が中国国内損害保険会社に出資・経営参画するのはこれが初めてとなります。

なお、当社は2003年7月に日本の保険会社として初めて中国国内生命保険会社である生命人寿保险股份有限公司(本社:上海、ミレアグループとして24.9%出資)に出資し経営に参画、本年6月には中国人保控股公司与保険仲介業を営む中盛国際保険經紀有限責任公司(本社:北京、24.9%出資)を設立しております。当社は今回の出資により、上海支店(現地法人化を申請中)と併せて、これら4社を柱とする中国における生損保事業の基盤を確立したことになります。

<天安社の概要>

設立:1994年10月

本店:中華人民共和国 上海市

拠点数:約590拠点(32支店、79中心支社、46支社、433営業所)

従業員数:約10,000人

収入保険料(2004年度):約51.5億人民元(約721億円)

総資産(2004年度末):約37.8億人民元(約529億円)